

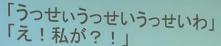
発行責任者 東大和障害福祉ネットワーク 東大和市南街 1-22-6 シティコート南街 1 F

NPO 法人

自立生活センター・東大和内 TEL: 042-567-2622

2021年10月末日発行

2021年度協会 2 加強会報告



~私かもと思うところからはじめよう~



藤内さんのお話は、いつも仕事のおもしろさを 思いおこさせてくれます**(@>∪<@)**◆♡ ディスタンスを保ち開催しました (^_^)/





の意思



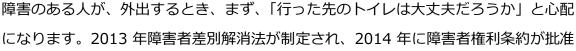
2021年6月29日(火)にネットワークの総会を行いました。奈良橋市民センターの定員 100人のホールに、密を避けるため50人とし、2年ぶりに対面で行いました! 当日は40名の参加者があり、久しぶりにお会いする方たちの笑顔で会場が溢れていました。 2部の学習会では、小平市の「NPO法人だれもがともに小平ネットワーク」代表の藤内昌信さんに来ていただき、支援者のあるべき姿について学習会を行いました。 藤内さんのお話を聞いている間、私自身が施設で働いていた時に感じていた、職員ってそんなに偉いの?なんでフツーのことなのに、施設ではできないの?地域で生活をしたいと希望していた利用者さんのために何ができるだろうと悩んでいたことを思い出しました。 さて、今の自分はどうなんだろう。利用者さんのために!と考えるあまり、おせっかいになっていないか、お互い特別な存在ではなく、同じ人間だということ(ありがとう、ごめんなさいと利用者さんに言っている回数のお話など)、普段の業務や仕事で忘れがちになってしまう(置き去りにされてしまう)本来当然であることを、改めて見つめていかないとなぁと感じました。

以前より、ともにネットの皆様とは交流をさせていただく機会がありましたが、お酒の入っていない藤内さんのお話をお聞きするのは初めてだなと気づきました。コロナウィルスの状況が落ち着いたら、また藤内さんとお酒を飲みながらお話しできる日を楽しみにしております。

市内公共施設の障害者用トイレを 誰もが使いやすいトイレにするために







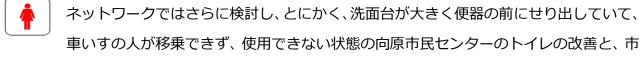


されましたが、障害者が町に出るとき、お店や施設に入るとき、まだまだ、バリアがい ろいろあります。



ネットワークでは、「せめて市内の公共施設のトイレだけは、優先的に誰でも安心して 利用しやすいものに!」を目指して、2017年度秋から市内の施設のトイレの状況の調 査を重ね、2020 年度は、9月7日に市に改善を求める要望書を提出しました。要望内 容は、障害者がトイレを利用するために最小限必要なものでしたが、市からの 10 月 28 日付の回答は、ほとんどが財政的に困難という残念なものでした。







内のすべての障害者トイレに荷物置きや荷物かけの設置を求める再要望書を 1月5日 に提出しました。この2回目の要望に関しては、すぐに公民館長から現地でのヒヤリン

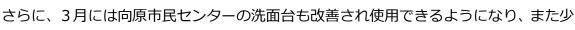
グの申し出があり、2月8日付けの回答では、向原市民センターのトイレの改善と、市

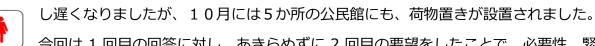


内のすべての障害者トイレへの荷物置きや荷物かけの設置を行う旨の回答が得られま した。その後荷物置きの改善状況を確認したところ、5か所の公民館以外は、丸椅子や



小机という簡易なものでしたが、すでに設置されていました。







今回は 1 回目の回答に対し、あきらめずに 2 回目の要望をしたことで、必要性、緊急 性を市に伝えることができ、改善につなげる事ができたと思います。



東大和市内のトイレの状況は、他市に比べてもかなり遅れているのが現状であり、今後 も、身体障害だけでなく、視覚障害やオストメイト利用者など、様々な障害の人が使い やすいトイレに改善していく必要があると思います。

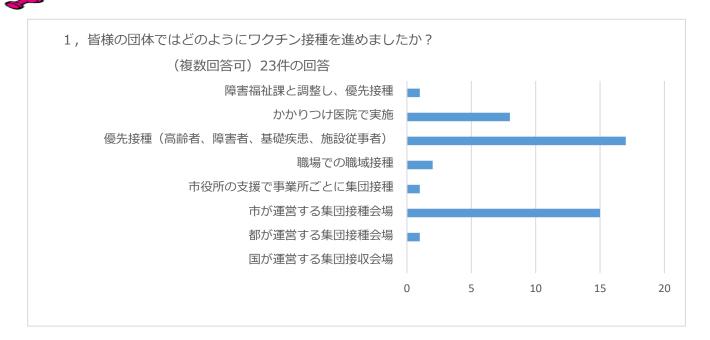


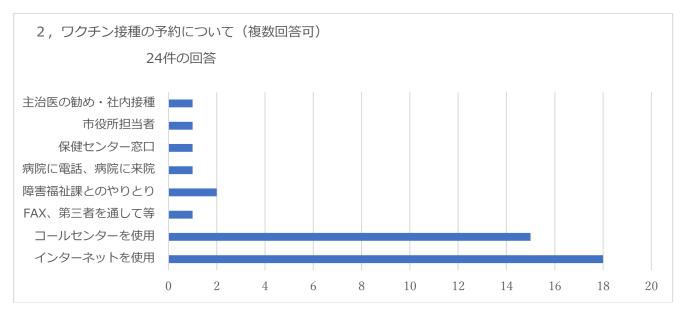




東大和市障害福祉ネットワーク構成団体のみなさまに、ワクチン接種の状況や、困りごとなど が無かったか等アンケートを実施いたしました。

以下アンケートの内容と、回答の一部です。





3,ワクチン接種を進めるにあたり、困りごとはありましたか(回答の一部です)

- ・一部の利用者については優先接種でもなかなか予約できないケースがありました。
- ・市町村の状況により予約がなかなか取れないケースがありました。
- ・コールセンターはなかなか電話がつながらず困った人がいた。インターネットも打ち込み方、 番号などわかりづらかった。

- ・利用者の住所地が必ずしも東大和市ではなかったため、予約等の手続き方法が自治体ごとに異なり煩雑だった。また、他市に住所がある方、東大和市で接種を希望された際、住所地外で接種するための手続きがあり、コールセンターの方に説明してもなかなか伝わらなかったりと時間と手間がかかった。
- ・市が施設の優先接種をしそうで結局できなかった。非常に惑わされた。
- ・特に困りごとはありませんでしたが、急に接種の予定が入る(週末等キャンセルが出たら対応)形だったため、当日対応できない利用者さん等もいました(体調不良等)。
- ・インターネットでの予約が難しい方への対応に追われた、職員の接種では副反応が起きた時の 代替え要員の確保。
- ・聴覚障がい者に初めて会った人(医療従事者・受付等の職員)の対応に嫌な思いをした人たちがいる。 耳のそばで大声?で話されたり、聞こえないと伝えたのにマスクをしたまま大声? で話したり、筆談をお願いしたのにしなかった、「この人は聞こえない」と遠くにいる担当者に伝えたり等。
- ・視覚障がい者には、運よく電話がつながっても番号を読めないのです・・ インターネットでもできない…。最終的に保健センターに連絡をしてもらい、電話口で番号なしでも予約を受け付けると返事をもらい、他、窓口がインターネットで予約を代わりに行ってくれた。市内にかかりつけの医院を持っている人たちは、そこでワクチン接種をやると確認し、それぞれに予約をし、なんとか二回の接種を受けることができました。 今回はなんとかできましたが、今後も色々とおこると思います。
- → 提案 ①電話がつながった場合、番号なしでも受けてほしい
 - ②保健センターなどの窓口で、代わりに職員が手続きをして欲しい。
- 4. 今後もワクチン接種は、今年度と同様の形を取りたいですか?

20 件の回答

◎はい:15件

◎いいえ:1件

◎その他

- ・情報保障してあれば
- ・安定的にそろって、施設での接種が出来るならそうしたい
- ・事前の予約なしで接種できる仕組みがあったら良い。1回目の予約時に、2回目も予約出来たらい
- ・次がいつになるかわかりませんが、利用さんに関しては通院先の精神科でも摂取できると良い。 職員は今回と同じで問題ない

- 5. その他、ご意見があればお願いいたします(回答の一部です)
- ・障害者や支援者は高齢者の後だったが、優先的に接種させてもらいたい。
- ・かかりつけ医が、接種をしておらず、困った。
- ・出来れば、今後は、市外のかかりつけ医でも接種可能になってもらえると助かります。
- ・事業所の巡回接種を実施していただき、職員の優先接種も実施していただき、日々状況が変わる中、優先的に対応していただき、障害福祉課の皆様のご尽力に感謝いたします。他区市町村の支給決定の方(住民票も他市)も、市内の接種会場で対応していただき、ありがたかったです。
- ・グループホームでは、利用者さんの住民票が異動されていないケースが多々あります。グループホーム職員が同行するにあたり、接種券発行管轄の市内でしか接種しておらず、とても困りました。職員は他市も受け付けているのに、どうしてだめなのか?と疑問に思いました。
- ・できれば、日中活動で集団接種を一番初めにしていただきたかった。
- ・旧みのり福祉園は駐車場が整備されてないので乗り降りが不便だった。
- ・市内には東大和療育センターがあるので、多摩地域の障がい者接種会場として中核的な役割を 担って欲しい。
- ・障がい者家族は、障害者本人の感染だけでなく家族の感染も恐れている(感染者が出た時の介護の問題で)ので、優先的に接種出来るようにして欲しい。
- ・障がい者の利用出来る療養施設(ホテルも含めて)の確保・高齢者には接種が進んでから接種 会場までのタクシー代が配布されたようだが、やるなら早々に始めるべきで公平さに欠け、中 途半端!予算の無駄だと思う。
- ・ろう協は早くから市長・障害福祉課・健康課にお願いをしてきた ①聴覚障がい者向けの集団 接種の実施 ②情報保障の配慮(FAX での連絡・コミュニケーションボード等) ③手話通訳者 の優先接種 そのうち③は実施できた。 特に健康課はコミュニケーションボード等の必要性を 理解できなかった。これまで関わりの薄かった部署や医師会との関係を築く必要があると思った。
- ・子どもに障がいがある場合、大人の接種後の副反応時に子どもを見ていただけたり、子どもに 心配な副反応が出た時、すぐ相談できる安心感がほしい。
- ・お勤めしている方はワクチン休暇がある場合もあったが、障がいのある子の親は休めない。副 反応で子どものお世話ができなくなったらどうしようという不安があった。
- ・障がいのある子は接種を受けるべきか、医師によって意見が違った。自分の子の主治医はデータが無いから安全性がわからないと接種に消極的で、リハビリ病院では接種を推奨していた。国や自治体などで今回の接種の調査を行い、障がい・持病と副反応の関係性のデータが集められると今後の接種の参考になるのではないか。
- ・ 市から連絡の郵便物には、必ず点字をお願いします。

障害福祉課の & 職員 お仕事 & 紹介します

障害福祉係

障害福祉課障害福祉係では、身体障害児・者及び知的障害児・者の「ケースワーク業務」のほか、さまざまな業務を行っています。

ケースワークとは、障害のある方お一人おひとりに対して、個別の相談や支援を行うことです。4名の担当で、市内の地区ごとに担当をしています。この4名と事務担当職員2名(1名産休中)と再任用職員1名、会計年度任用職員1名を束ねているのが障害福祉係長です。

ケースワーク以外の業務は多岐にわたります。最も比重が大きいのが障害支援区分の認定調査とサービス支給決定。この他、自立支援協議会の運営、総合福祉センターや地域生活支援拠点事業に関する業務、障害者差別解消法への対応、障害者虐待防止センター、補装具・日常生活用具、ガソリン・タクシー助成、マル障、手話通訳者派遣などなど。新しい業務もどんどん加わり、やることはたくさんですが、係一丸となって業務に励んでおります。

	/I +0.1/		
	仕事・担当	名前	ひとことなど
•	障害福祉課長	大法	障害のある方が住み慣れた地域で安心して暮らし続けられる
			よう施策の推進に努めてまいります。
•	係長	内野	日々、勉強中です。よろしくお願いいたします。
•	ケースワーカー	古川	まだまだ勉強中です。引き続きよろしくお願いします。
•	ケースワーカー	三浦	お困りごとがございましたら、ご相談ください。
•	ケースワーカー	中谷	お気軽にご相談ください。よろしくお願いします。
•	ケースワーカー	笠原	少しでも皆さまのお力になれるよう尽力します。
•	事務職員	大竹	産休中
•	事務職員	木下	4月に異動してまいりました。よろしくお願いします。
•	再任用職員	小川	地域生活支援拠点の担当です。よろしくお願いします。
•	会計年度任用職員	横田	障害のある方とご家族のお役に立てれば思っております。

順不同。

名前の前の◆=男性、●=女性

相談支援係

障害福祉課相談支援係では、通院し、居宅で生活している精神障害者及びその家族を対象に生活相談(生活の仕方や対人関係等)や医療の相談(薬の飲み方、医療の継続の相談等)のほか、精神保健福祉手帳、難病等医療費助成や自立支援医療の申請受付などを、女性職員6名で行っています。地域の福祉・保健・医療機関と

連携を図りながら支援してまいります。

お気軽にご相談ください。



令和3年度 地域自立支援協議会 • 障害者相談員

障害者理解促進事業

作業所スタンプラリー

~障害のある人の働く場をたずねましょう~

地域自立支援協議会・障害者相談員の研修事業は、市民の方たちに障害や障害のある人への理解を深め、障害のある人を取り巻く課題等を知ってもらうことを目的に、広く市民の方が参加できる催しを実施しています。

今回は、市内の作業所(就労継続支援B型事業所)を歩いて回るスタンプラリーを 行います。各作業所では、さまざまな工夫をして参加者をお迎えします。また、各作 業所の自主製品の販売も行います。多くの方の参加をお待ちしています。

日にち:12月10日(金)・11日(土)

時間:午前10時~午後3時(原則として午後0時~1時は除く)

参加方法:下記の方法によりスタンプラリー帳を入手してください

事前申込みは不要です。



ラリー帳は、障害福祉課窓口、公共施設、各作業所で配布するほか、市公式ホームページからダウンロードできます。(11/15 から)

- ◆参加に際しての注意事項
- ・作業所では、作業の見学、作業体験、通所者との交流 (ゲームやクイズ)、自主製品の購入などができます。お楽しみに!
- ・作業所には駐車場がありませんので、徒歩、自転車または公共交 通機関をご利用ください。
- ・グループで参加する場合は、I グループ 5 人まで。必ずマスクを着 用してください。
- ・3か所または5か所回ると景品を進呈します。13か所全部回ると 賞状とさらなる景品を進呈します。景品進呈は無くなり次第終了 します。









目印はうまべえののぼりばた







新型コロナウイルス感染症の拡大状況により中止とする場合があります。 中止の場合は市HP等でお知らせします。

問合せ:障害福祉課 電話 042-563-2111 内線1123 FAX 042-563-5928

2021年度 役員紹介

役 職	氏 名	所 属
代表	水谷 雅弘	東大和市視覚障害者福祉協会
	田渕 規子	NPO 法人 自立生活センター・東大和
副代表	平松 美佐子	東大和市手をつなぐ親の会
	森田 由美子	社会福祉法人みんなの会 第二みんなの家
	尾又 昇司	NPO 法人 ゆうらんせん
書記	本田 未奈	東大和市心身障害児・者 家族の会ゆめのわ
	田中 海之	合同会社ボアソルチ
会計	脇田 正子	個人
	佐藤 英樹	NPO 法人 自立生活センター・東大和
##≣∡	尾崎 美佐子	フレンズ モエ
世話人	加藤 良子	障害福祉サービス事業所 (PACE)
	唐津 紗綾子	NPO 法人 自立生活センター・東大和
相談役	海老原 宏美	NPO 法人 自立生活センター・東大和
監査	小林 景子	個人

構成団体

1	NPO 法人アダージョ ライブリィ工房
2	NPO 法人おれんじはあと 精神障害者グループホームなんがい
3	NPO 法人 グループゆう
4	NPO 法人 食工房 ぱる
5	NPO 法人 自立生活センター・東大和
6	NPO 法人生活支援センター207 あとりえトントン
7	NPO 法人生活支援センター207 第 2 あとりえトントン
8	NPO 法人 東大和けやきの会 PACE
9	NPO 法人 ゆうらんせん
10	NPO 法人リング グランデ
11	社会福祉法人えいぶる かたつむりの会作業所
12	社会福祉法人恩賜財団東京都同胞援護会グループホームフレンズ・モエ
13	社会福祉法人 この指とまれ
14	社会福祉法人みんなの会 第一みんなの家
15	社会福祉法人みんなの会 第二みんなの家
16	社会福祉法人みんなの会 第三みんなの家
17	合同会社 ソエル
18	合同会社 喜良
19	一般社団法人 かざまぐみ 放課後等デイサービスあかぐみ東大和
20	株式会社エルヴィエント 就労支援事業所 NOAH
21	東大和市視覚障害者ひとみサークル
22	東大和市視覚障害者福祉協会
23	東大和市手話通訳者の会
24	東大和市聴覚障害者協会
25	東大和市手をつなぐ親の会
26	手・指の会
27	東大和市心身障害児・者 家族の会ゆめのわ
28	合同会社ボアソルチ
	携む団体 何 レンナに首作していまる